第１回生涯学習審議会
資料　５

生涯学習部の報告事項

１．町田市教育委員会定例会

（１）２０２３年度 第１１回 定例会（２０２４年２月２日）

＜議案＞

【生涯学習総務課】

・議案第２９号：町田市生涯学習審議会条例（案）について

（２）２０２３年度 第１２回 定例会（２０２４年３月８日）

＜報告事項＞

【生涯学習センター】

・報告事項８：「町田市障がい者青年学級事業」再構築の方向性について

・報告事項９：２０２３年度 学生活動報告会『ガクマチＥＸＰＯ』の開催について
開催期間：２０２４年３月２０日（水・祝）

【図書館】

・報告事項１０：「文ッ字フリマ」の開催について
開催期間：２０２４年３月３０日（土）

・報告事項６：「はっ！絵本作家・シゲリカツヒコ展」の実施報告について
開催期間：２０２３年７月２２日（土）～２０２３年９月２４日（日）

・報告事項１１：「君の気持ちにマッチする！町田ブンガク」の発行について

（３）２０２４年度 第１回 定例会（２０２４年４月１２日）

＜議案＞

【生涯学習総務課】

・議案第２号：町田市立中学校ＰＴＡ連合会の役員への感謝状の贈呈について

＜臨時代理報告＞

【生涯学習総務課】

・臨時代理報告第１号：第７期町田市生涯学習審議会委員の委嘱について

＜報告事項＞

【生涯学習センター】

・報告事項　９：生涯学習センター改修工事に伴う休館について

・報告事項１０：２０２３年度 学生活動報告会『ガクマチＥＸＰＯ』の実施報告について

【図書館】

・報告事項１１：「推し本を伝えよう！ひとこと POP コンテスト 2023」の開催結果について

・報告事項１２：鶴川図書館における図書コミュニティ施設に向けた取組状況について

・報告事項１３：「少女たちのお手紙文化 1890-1940 展　変わらぬ想いは時を超えて」の実施報告について

・報告事項１４：「文ッ字フリマ」の実施報告について
・報告事項１５：「５７５７７展２ｎｄ」の開催について

（4）２０２４年度 第2回 定例会（２０２４年5月２日）

＜議案＞

【図書館】

・議案第８号：第２０期町田市立図書館協議会委員の委嘱及び解任について

（5）２０２４年度 第3回 定例会（２０２４年6月２１日）

＜議案＞

【生涯学習総務課】

・議案第９号：第７期町田市生涯学習審議会委員の委嘱について

＜臨時代理報告＞

【生涯学習総務課】

・臨時代理報告第３号：第３２期町田市文化財保護審議会委員の解任について

＜報告事項＞

【生涯学習総務課】

・報告事項７：町田市立自由民権資料館の休館について

【図書館】

・報告事項８：図書館再編の取組状況について
・報告事項９：「ことばらんどショートショートコンクール2024」の実施について

（6）２０２４年度 第4回 定例会（２０２４年7月５日）

＜議案＞

【生涯学習総務課】

・議案第１１号：第７期町田市生涯学習審議会委員の委嘱について
・議案第１２号：第３２期町田市文化財保護審議会委員の委嘱について

＜報告事項＞

【生涯学習総務課】

・報告事項２：ミニ企画展「計る・測る・量るー”はかる”道具の今、むかしー」の開催について

【生涯学習センター】

・報告事項３：「平和祈念事業」の開催について

【図書館】

・報告事項４：「５７５７７展２ｎｄ」の実施報告について
・報告事項５：「チリとチリリ　どいかや絵本の世界展」の開催について

２．町田市議会定例会

（1）町田市議会３月定例会

＜一般質問＞

森本　せいや議員（3月１９日）

市が行う指定管理者に対する適正な労働条件の確認について

・現状の取り組みと課題について。

(生涯学習部回答)

・町田市教育委員会では、２０２２年４月から鶴川駅前図書館に指定管理者制度を初めて導入した。指定管理者制度の導入にあたり、専門性の担保や雇用の安定性などについて、市議会や図書館協議会から適切な運用を求める声をいただいていたため、効果的な労働条件モニタリングの実施に向け、図書館の職員を対象とした研修を、東京都社会保険労務士会の多摩統括支部から講師を招き、２０２２年１２月に実施した。２０２４年２月にも２回目の研修を実施したところ。研修では、関係法令の解説をはじめ、モニタリングの際に使用するチェックシートに沿ったより実務的な解説をしていただき、担当職員のスキル向上につながるとともに効果的な労働条件モニタリングを実施することができた。今後、人事異動などで担当職員が変わった際にも、現在の水準でモニタリングが実施できるよう、２０２４年度以降も研修などの取組を継続していく必要があると考えている。

今村　るか議員（3月２５日）

町田市の歴史や伝統の継承について

・市制施行６０周年を経てこれまでを振り返りつつ、歴史や伝統を継承する重要性をどう認識し、どう取り組んできたか伺う。

(生涯学習部回答)

・町田市では、１９６０年に町田市文化財保護条例を制定した。この条例に基づき、歴史的価値が高いものの保護に努めるとともに、郷土の歴史、伝統を未来へ継承するため、資料の収集、保存、展示、調査などを行ってきており、市民の財産である市の歴史や伝統を継承することは、大変重要であると認識している。１９６８年の市制施行１０周年を機に着手した町田市史の編さん事業が１９７６年に終了し、その後、１９８６年には、町田市史の編さんで収集した資料や情報を継承するため、町田市立自由民権資料館を開館した。なお、自由民権資料館では、２０２３年３月から常設展として「町田の歴史」を公開している。また、２０２２年４月には、インターネット上で町田市の考古・歴史・民俗資料を見ることができる「町田デジタルミュージアム」を公開し、これまで多くの方にご覧いただいている。

熊沢　あやり議員（3月２６日）

図書館について

・図書館に求められているものは。

(生涯学習部回答)

・町田市教育委員会では、市民のニーズや図書館の課題を踏まえて、２０１９年２月に「町田市立図書館のあり方見直し方針」を策定し、「あらゆる市民が利用しやすい図書館」、「子どもの読書活動を充

実させる図書館」、「地域のコミュニティ形成を支援する図書館」、「地域の課題や社会状況の変化に対応する図書館」という４つの目指す姿を掲げ、様々な取組を進めている。

＜文教社会常任委員会＞（３月１５日）

・行政報告：生涯学習センター改修工事に伴う休館について

生涯学習センターの空気調和設備改修工事、床・壁内装改修工事、照明設備改修工事等のため、2024 年 10 月 1 日から 2026 年 1 月 3 日まで休館することについての報告。

・行政報告：鶴川図書館における図書コミュニティ施設に向けた取組状況について

町田市立図書館では、将来にわたり町田市の図書館サービスを継続していくために、「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」に基づき、図書館再編の検討を進めてきた。

鶴川図書館において、２０２５年度に民設民営の図書コミュニティ施設へ転換することとし、取組を進めている状況についての報告。

（２）町田市議会６月定例会

＜一般質問＞

三遊亭　らん丈議員（６月７日）

図書館の取組について

・教育プランについて、図書館における取組内容を問う。

・システム更改について、その概要を問う。

（生涯学習部回答）

・町田市立図書館では、２０２４年３月に町田市教育委員会が策定した「町田市教育プラン２４－２８」に掲げた、７つの重点事業に取り組んでいる。具体的には、若者が参画する読書普及イベントなどを実施する「子ども・若者の読書活動の推進」事業や、図書館サービスをより多くの人に体験していただく取組を実施する「学びにつなげる図書館体験」事業、鶴川図書館の図書コミュニティ施設への転換などを進める「図書館再編と運営体制の構築」事業などに取り組んでいるところ。

・町田市立図書館では、２０２５年３月に図書館システムを１０年ぶりに全面更改する。更改を機に、図書館に来館することなく、マイナンバーカードを活用してオンラインで利用登録ができるサービスや、スマートフォンを図書館利用券として使うことができるサービスなどを新たに導入し、利用者の利便性を向上させるとともに業務の効率化を図っていく。

藤田　学議員（６月１４日）

町田市考古資料室について

・収蔵品の管理について

・現状の取り組みについて

・今後の取り組みと拡充について

・町田市考古資料室の収蔵環境の整備について

（生涯学習部回答）

・町田市考古資料室では、町田市内で出土した土器や石器などの考古資料を保管しており、学芸員が定期的に整理を行っている。考古資料は、発掘調査地点ごとに遺跡名や番号などを記載して保管しており、他の施設への展示や大学の研究への協力など、いつでも活用できるよう管理している。

・考古資料室の開室日は、毎月、第２と第４週の土曜日、日曜日及び祝日としているが、児童・生徒の夏休みにあたる７月と８月は、毎週土曜日、日曜日及び祝日に開室している。展示の内容は、２０２３年２月にリニューアルし、市内で多く発見される縄文時代の土器を中心に常設展示しているほか、プロジェクターにより市内の遺跡マップなどの投影をしている。また、展示品には二次元コードを付け、町田デジタルミュージアムと連動させるなど、見学する方に町田の歴史に興味を持っていただけるよう工夫をしている。考古資料の活用としては、考古資料室での常設展示のほか、子どもセンターや高齢者福祉センターなどでも出張展示をしている。また、小・中学校で行っている出張歴史授業では、土器や石器の実物を手に取ってもらい、縄文時代について学べるようにしている。

・小・中学校向けの出張歴史授業については、今年度、２０２４年度から、新たに学芸員の解説を聞きながら考古資料室や遺跡を見学するコースを設け、身近な地域にある遺跡や考古資料の実物にふれる機会が持てるようにした。今後、より多くの学校で活用していただけるよう、周知を行っていく。また、今年度、２０２４年度に本町田遺跡公園内のガイダンスルームの展示をリニューアルするので、その際、まちだ縄文キャラクター「まっくう」を活用して、町田市の縄文文化を広くＰＲすることを予定している。

・考古資料室に併設しているプレハブの収蔵庫は、築４０年以上が経過し、老朽化が進んでいる。また、考古資料は、考古資料室だけでは収蔵しきれないため、金森図書館の倉庫及び相原町のゆくのき学園の一部の空き教室を使用して保管しているが、今後も増えることが見込まれている。考古資料は後世に引き継ぐ必要があることから、新たな保管場所を確保するのか、収蔵庫を修繕するのかなど、最適な収蔵環境の整備について、引き続き検討していく。

＜文教社会常任委員会＞（６月１８日）

・行政報告：図書館再編の取組状況について

町田市立図書館では、将来に渡り町田市の図書館サービスを継続していくために、「町田市公共施設再編計画」及び「町田市立図書館のあり方見直し方針」に基づき、図書館再編の検討を進めている。

この度は、鶴川図書館における図書コミュニティ施設への転換に向けた取組状況とさるびあ図書館における意見交換の実施状況についての報告。